

Business Report 2009

第52期 中間報告書

2009.4.1 ▶ 2009.9.30



C O M M U N I C A T I O N & S E C U R I T Y



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに当社第52期
第2四半期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の営業の概況
と決算につきましてご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導とご鞭撻を賜
りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長 **市川 周作**

■ 当第2四半期の概況

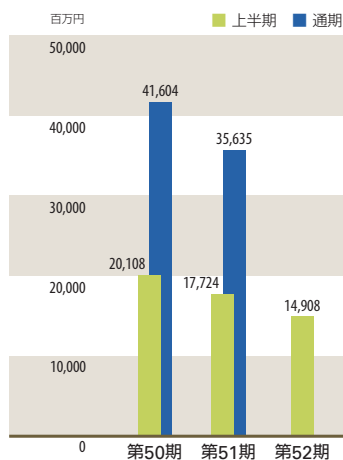
平成21年4月1日から9月30日までの6カ月間（以下、当第2四半期）のわが国の経済は、世界規模に拡大した金融市場不安等による景気の悪化に底打ちの兆しが見られるものの、依然として低水準で推移し、企業収益は大幅に悪化いたしました。国内外の経済対策によって需要が喚起された一部の業種では改善が見られるものの、雇用情勢は悪化傾向が続いており先行きの不透明感個人の消費意欲を減退させ、総じて実体経済は非常に厳しい状況となりました。

このような経済情勢を受け、国内の住宅設備の分野におきましては、引き続き住宅取得意欲が低下していることから、住宅の販売戸数は低迷しており、新設住宅着工戸数は大幅に減少いたしました。また、海外市場におきましても世界規模の景気減退の影響により需要が減少いたしました。

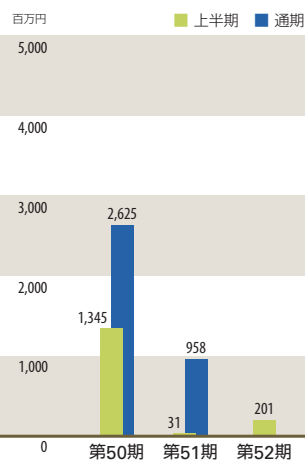
このような状況の中で、当社はお客様のニーズに応えるべく、新製品の開発と積極的な営業活動を展開して業績の向上に努めてまいりました。

当第2四半期の連結の経営成績は、売上高149億8百万円（前年同期比15.9%減）と前年同期を下回りました。しかしながら利益面につきましては、減収幅が大きかったものの販売促進費の見直しなど経費削減の取り組みを強化したことや前期に発生したリコール費用が無くなったことによるアフターサービス費の減少等により、営業利益は2億1百万円（前年同期比547.2%増）、経常利益は1億8千3百万円（前年同期比302.0%増）となりました。また投資有価証券評価損の減少により四半期純利益は1億4千9百万円（前年同期は四半期純損失8百万円）となりました。

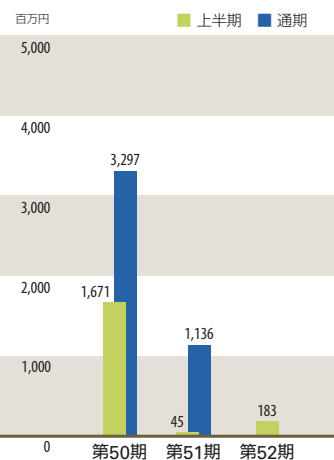
売上高



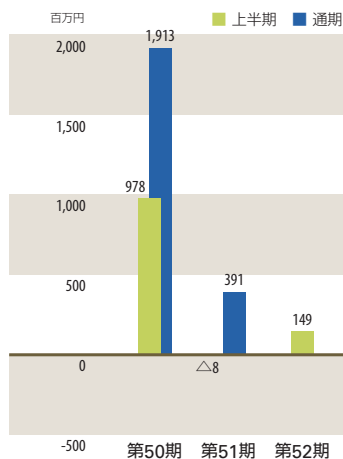
営業利益



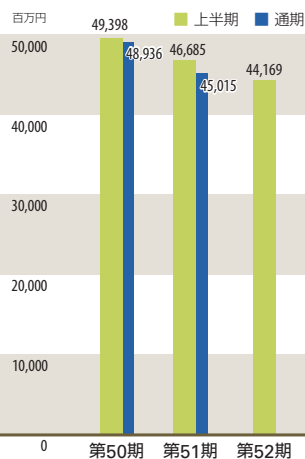
経常利益



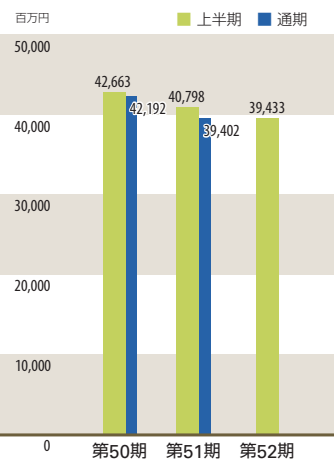
四半期(当期)純利益



総資産



純資産



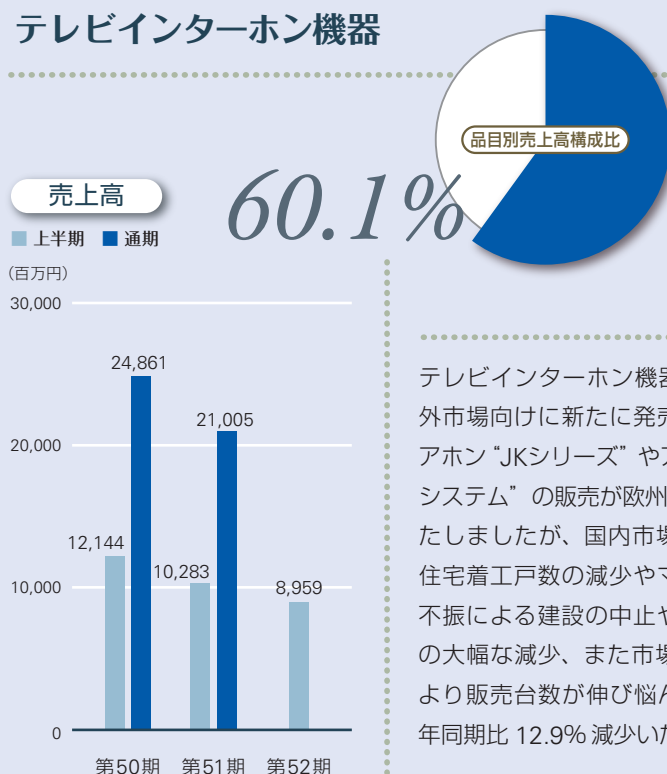
当社の企業集団は、当社及び子会社7社で構成され、一般インターホン機器、セキュリティインターホン機器、テレビインターホン機器、ケアインターホン機器及び情報通信機器等の電気通信機器の製造・販売を主な内容とし、さらに各事業に関連する据付工事、請負、修理等の事業活動を展開しております。

品目別販売状況

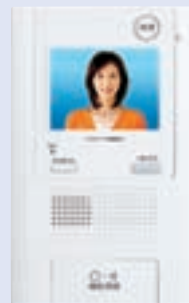
品 目	売上高（百万円）	前年同期比増減率（%）	構成比（%）
一般インターホン機器	1,754	△20.2	11.8
セキュリティインターホン機器	1,108	△21.8	7.4
テレビインターホン機器	8,959	△12.9	60.1
ケアインターホン機器	1,374	△21.4	9.2
情報通信機器	372	2.1	2.5
そ の 他	1,340	△21.7	9.0
合 計	14,908	△15.9	100.0

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

テレビインターホン機器



テレビインターホン機器につきましては、海外市場向けに新たに発売したカラーテレビドアホン“JKシリーズ”やアパートシステム“GHシステム”の販売が欧州において好調に推移いたしましたが、国内市場では戸建住宅の新設住宅着工戸数の減少やマンション市場の販売不振による建設の中止や延期による納入物件の大幅な減少、また市場における競争激化により販売台数が伸び悩んだ結果、売上高は前年同期比 12.9% 減少いたしました。



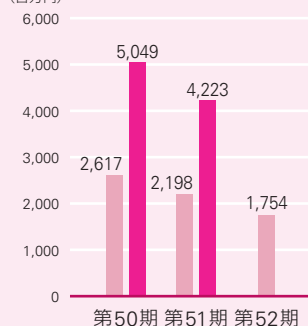
一般インターホン機器

品目別売上高構成比

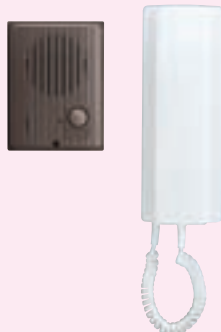
売上高

■ 上半期 ■ 通期

(百万円)



11.8%



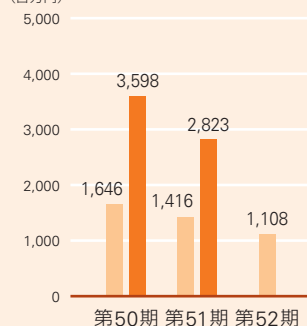
セキュリティインターホン機器

品目別売上高構成比

売上高

■ 上半期 ■ 通期

(百万円)



7.4%



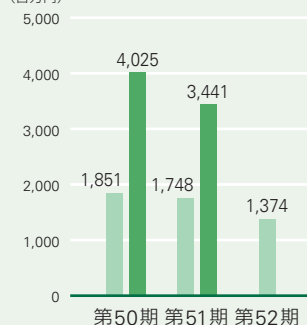
ケアインターホン機器

品目別売上高構成比

売上高

■ 上半期 ■ 通期

(百万円)



9.2%



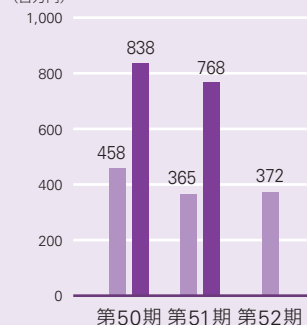
情報通信機器

品目別売上高構成比

売上高

■ 上半期 ■ 通期

(百万円)



2.5%



TOPICS



「名証IRエキスポ2009」に出展いたしました。

今年で 16 回目を迎える「名証 IR エキスポ 2009」（名古屋証券取引所主催）が 7 月 17 日（金）、18 日（土）の 2 日間にわたり、名古屋市の吹上ホールで開催されました。

今年は 103 社の企業が出展し、来場者数は両日合わせて 6,000 名にのぼり大変な盛況ぶりとなりました。

当社もアナリスト向け個別面談や当社ブースにおいて一般投資家の皆様への説明会等をおこない、会社の概要や 2009 年 3 月期の決算概要などを説明するとともに、商品ディスプレイをご覧いただき実際の商品に触れていただきました。

また、今回は例年実施しているアンケートを当社企業情報に関するクイズ形式に変更し、2 日間で約 230 名を超える方にクイズにお答えいただき、当社について興味を持っていただくことができました。



「2009電設工業展」に出展いたしました。

今年で 57 回目を迎える「2009 電設工業展」が 5 月 27 日（水）から 5 月 29 日（金）の 3 日間にわたり、東京国際展示場（東京ビッグサイト）で開催されました。

当社は、電気工事業・建築業の方や官公庁の方などに展示会のテーマである“エコライフ”に沿って集合住宅用リニューアブルシステムなどを展示いたしました。3 日間で約 85,000 名を超える方が来場し、当社ブースにも約 2,000 名の方にお越しいただき、活気あふれる展示会となりました。



新商品 NEWS



『ケータイ de ドアホン』システム

マンション市場における一層のシェア拡大を狙い、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモと共同で業界初*の住宅内で携帯電話がテレビドアホンになる「ケータイ de ドアホン」システムを開発しました。このシステムは、住宅内の無線LANルーター（別売）を経由して無線LANエリア内で携帯電話端末をテレビドアホンのワイヤレス増設親機相当として使用するものです。これにより、住宅内どこにいても携帯電話端末で来客などに対して迅速に対応ができます。



【主な特長】

- ① 無線LANエリア内で携帯電話端末による来客対応ができます。
- ② 住宅内に設置された無線LAN環境を使用するため初期費用のみで導入でき、月額利用料などのランニングコストが発生しません。
- ③ 携帯電話端末で映像の確認及び通話対応などがタイムラグ無しでできます。
- ④ インターホンシステムで受信したセキュリティ警報を携帯電話端末で受けることができます。

※2009年11月4日現在 当社調べ

『ROCOワイドポータブル』

住宅市場で好評をいただいている、玄関先がほぼ真横まで見える「パノラマワイド」とどこでも来客対応ができる「ワイヤレス機能」の2つを融合させた“ROCOワイドポータブル”を新発売いたしました。

この商品は玄関先をほぼ真横まで見渡せることにより訪問者がしっかり確認でき防犯性に優れ、また家事などの最中に来客があっても、手元に置けるワイヤレス増設親機で迅速に対応できる利便性も併せ持っています。また、ワイヤレス増設親機でも「パノラマワイド」を採用しており玄関先を広く確認することができます。

【主な特長】

- ① 増設親機はワイヤレスなので、持ち運びができます。
- ② ワイヤレス増設親機でも玄関先をほぼ真横まで確認することができます。
- ③ 録画はワイド画面とズーム画面それぞれが可能です。
- ④ ワイヤレス増設親機でもワイド画面とズーム画面の切り替えが可能です。
- ⑤ 近隣配慮のため、夜間の来客時の通話音量を自動調整することができます。

ROCOワイドポータブル



さらに詳しい商品情報は当社ホームページをご覧ください。

<http://www.aiphone.co.jp/>

■ 会社概況 (2009年9月30日現在)

社 名	アイホン株式会社 AIPHONE.CO.,LTD
創 立	昭和 23 年 6 月 1 日
本社所在地	名古屋市熱田区神野町 2-18
資 本 金	5,388,844,000 円
従 業 員 数	1,440 人 (連結) 931 人 (個別)

■ 事業の内容

1. 通信機器、音響機器、電子応用機器ならびに各種電気機器の製造、据付工事、請負、修理、売買及び輸出入。
2. 情報通信、情報処理及び情報提供のサービスならびにインターネット接続仲介業。
3. コンピュータシステム機器及びソフトウェアの設計、開発ならびに販売。
4. 損害保険代理店業及び生命保険の募集に関する業務。
5. 不動産の売買・賃貸借及びその仲介ならびに不動産の管理。
6. 前各号に附帯する一切の業務。

上記の主な製品品目は、一般インターホン機器、セキュリティインターホン機器、テレビインターホン機器、ケアインターホン機器、情報通信機器であります。

■ 役員 (2009年9月30日現在)

代表取締役社長	市 川 周 作
常 務 取 締 役	堀 田 透
取 締 役	安 藤 正 道
取 締 役	寺 尾 浩 典
取 締 役	平 児 敦 夫

常 勤 監 査 役	梶 田 良 貴
監 査 役	坂 浦 正 輝
監 査 役	立 岡 亘
監 査 役	石 田 喜 樹

■ 執行役員 (2009年9月30日現在)

岡 田 修
浅 野 浩 司
神 谷 喜 生
加 藤 淳 夫
和 田 健

当社の製品をご自由にご覧いただけます

月曜日～金曜日(除く祝日、夏季休暇、年末年始休暇) 営業時間 >>> 9:00 ~ 17:00

▶ 本社ショールーム



〒456-8666
名古屋市熱田区神野町2-18
(052) 682-3877

地下鉄名港線: 日比野駅 2番出口より徒歩約5分

▶ 東京ショールーム



〒112-0001
東京都文京区白山3-2-2
(03) 5684-3411

東京メトロ丸ノ内線: 茗荷谷駅 春日通出口より徒歩約12分
都営地下鉄三田線: 白山駅 A1出口より徒歩約13分

▶ 大阪ショールーム



〒540-0005
大阪市中央区上町1-5-16
(06) 6765-0352

地下鉄鶴見緑地線: 玉造駅 1番出口より徒歩約5分
JR大阪環状線: 玉造駅 徒歩約13分

国内ネットワーク

- : 営業所 45 箇所
- : テクニカルセンター 5 箇所



本社



東京支店



豊田工場



大阪支店



AIPHONE CORPORATION
アメリカ・シアトル

海外ネットワーク

■ 連結貸借対照表

[単位：百万円]

科目	期別 当第2四半期 H21.9.30 現在	前第2四半期 H20.9.30 現在	前期 H21.3.31現在
資 産 の 部			
流動資産	29,716	32,782	31,117
固定資産	14,452	13,903	13,897
有形固定資産	5,549	5,614	5,500
無形固定資産	0	0	0
投資その他の資産	8,903	8,288	8,397
資産合計	44,169	46,685	45,015
負 債 の 部			
流動負債	3,171	4,336	3,988
固定負債	1,564	1,549	1,624
負債合計	4,736	5,886	5,612
純 資 産 の 部			
株主資本	41,024	41,574	41,067
評価・換算差額等	△ 2,443	△ 1,738	△ 2,584
少数株主持分	851	962	919
純資産合計	39,433	40,798	39,402
負債純資産合計	44,169	46,685	45,015

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

■ 連結損益計算書

[単位：百万円]

科目	期別 当第2四半期 H21.4.1～ H21.9.30	前第2四半期 H20.4.1～ H20.9.30	前期 H20.4.1～ H21.3.31
売上高	14,908	17,724	35,635
売上原価	8,759	10,813	21,307
売上総利益	6,149	6,911	14,328
販売費及び一般管理費	5,947	6,880	13,369
営業利益	201	31	958
営業外収益	172	173	437
営業外費用	190	159	259
経常利益	183	45	1,136
特別利益	1	8	8
特別損失	46	85	255
税金等調整前四半期 (当期)純利益(△は損失)	138	△ 31	889
法人税、住民税及び事業税	△ 28	△ 46	472
少数株主利益	17	23	25
四半期(当期)純利益(△は損失)	149	△ 8	391

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

[単位：百万円]

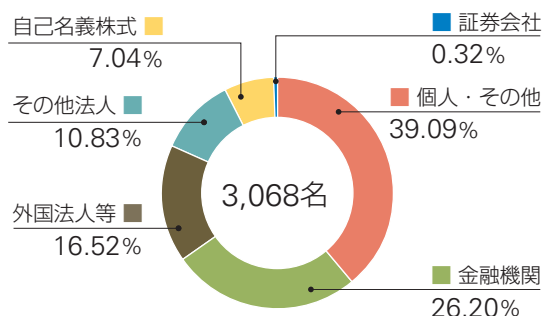
科目	期別 当第2四半期 H21.4.1～H21.9.30	前第2四半期 H20.4.1～H20.9.30	前期 H20.4.1～H21.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,028	2,180	3,078
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 294	△ 273	△ 1,601
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 204	△ 1,024	△ 1,920
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 227	△ 24	△ 295
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,301	858	△ 738
現金及び現金同等物の期首残高	13,051	13,789	13,789
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	14,352	14,647	13,051

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

■ 株式の状況 (2009年9月30日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	20,674,128株
株主数	3,068名

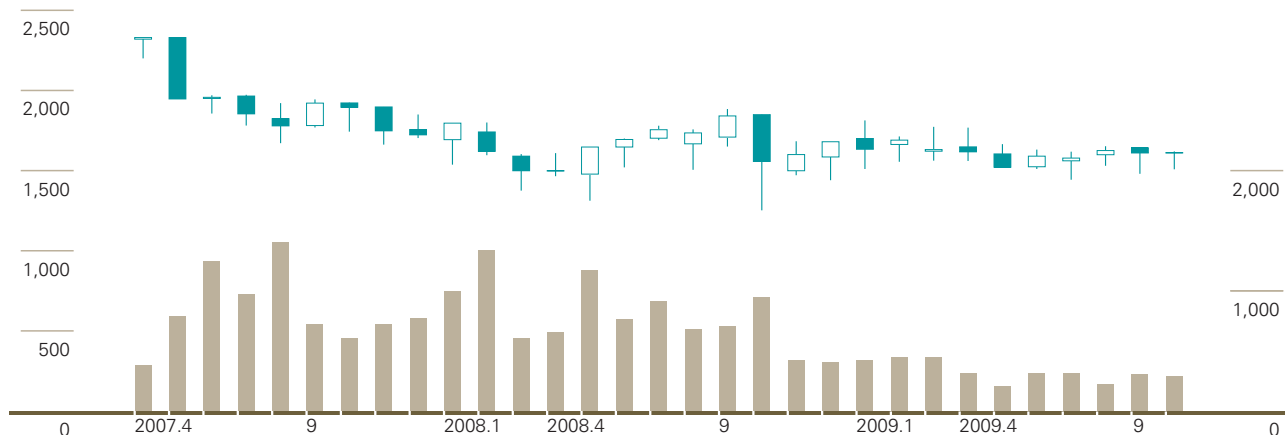
■ 所有者別分布状況 (2009年9月30日現在)



■ 株価・出来高の推移 (2009年9月30日現在)

(株価：円)

(出来高：千株)



■ 大株主 (2009年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
市川周作	2,422	12.60
いちごアセットトラスト	2,208	11.49
アイホン従業員持株会	770	4.01
株式会社みずほ銀行	726	3.78
日本生命保険相互会社	613	3.19
三菱UFJ信託銀行株式会社	607	3.16
株式会社三菱東京UFJ銀行	604	3.15
第一生命保険相互会社	480	2.50
市川利夫	371	1.93
住友生命保険相互会社	364	1.90

注1：当社は自己株式1,455千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

注2：市川利夫氏は、平成21年1月13日逝去されましたが、平成21年9月30日現在相続が終了していないため、株主名簿のとおり記載しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.aiphone.co.jp/bu/koukoku.html (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。製品紹介のサイトでは当社が出展した展示会情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信等がご覧いただけます。

<http://www.aiphone.co.jp/>

■ 受賞・認証



■ 商品の修理受付・ご相談

修理受付センター
0120-037-704
FAX 0120-098-990
●受付時間 午前9:00～午後5:30 ●年中無休(365日)受付
土曜、日曜も受け付けております。

【株式に関するお手続きについて】

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
- 特別口座から一般口座への振替請求 - 単元未満株式の買取請求 - 住所・氏名等のご変更 - 特別口座の残高照会 - 配当金の受領方法の指定(*)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料） 【手続き書類のご請求方法】 - 音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479（通話料無料） - インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 - 支払期間経過後の配当金に関するご照会 - 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選択いただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 - 支払期間経過後の配当金に関するご照会 - 株式事務に関する一般的なお問合せ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。



お取り扱いなどのご相談は
お客様相談センター
0120-141-092
(ご注意 携帯電話からのご利用はできません)

●受付時間 午前9:00～午後5:30
●土・日、祝日、およびお盆、年末・年始、ゴールデンウィークを除く。

